

ニュースレター No.20

発行：2002年7月

◆環境フェア開催！

6月8日(土)、夏を思わせる暑い日差しの中、調布駅南口広場で、調布市主催の「環境フェア」が開催されました。30回を迎えた今回は、市民・事業者・行政の協働による開催ということで、さまざまな市民団体の参加もありました。これまでに29回開催された「環境フェア」ですが、今回初めて市民にも呼び掛けが行なわれて、協働による開催が謳われました。行政主導の開催から市民や事業者と共に開催する「環境フェア」の今後に期待が膨らむと同時に私たち市民が自分の問題として取り組まなければならない時がきていることをあらためて感じました。「ちょうふ環境市民懇談会」は昨年に続き「調布市環境モニター」、「入間・樹林の会」、「雑木林塾」、「調布大気測定連絡会」とともに展示を行ない、展示ブースを訪れる市民の方に活動をアピールしました。昨年、大勢の参加者で好評を博した環境モニターによる「ガイドウォーク」がPR不足のため、参加者が少なかったのがとても残念でした。



南口広場の展示ブースとクヌギの実生

●ガイドウォーク

天気もよく汗ばむ陽気の中、今年も去年と同じコースで行いました。



① 布田4丁目界隈の風景は「調布駅まで徒歩圏内」にあるにも拘わらず昔の田園風景が残り、ネジバナ(右図)の可愛い花が咲いていました。



②

3丁目には屋敷林のある家がまだまだ残り、また、たくさんの牛がいる牛舎を通りました。時間があったら牧場の生い立ち等を聞いてみたかった。

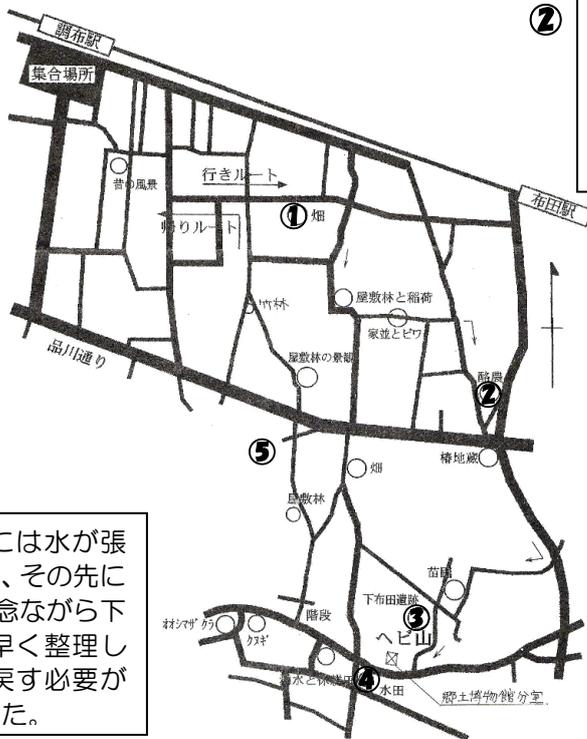


③

品川道を渡り「へび山」へ、ここでは冬の樹木調査で発見した市内では唯一の桜の木のヤドリキを確認した。

一 内 容

環境フェア
調布市内の活動報告
特集「めだか」
イベント情報



⑤

戻りのコースでは歩き疲れて、ムベ、あんず、コンフリー等に目がむきました。

④

羽毛下通り沿いの田んぼには水が張られカルガモが泳いでいて、その先には大きなエノキがある。残念ながら下には車が捨てられており早く整理して皆が和める風景を取り戻す必要があるとの意見が多く出された。

全コース調べ上げてもっと多くの市民が楽しめる内容のガイドウォークができるようにしたいと思います。

調布市内での活動報告！

雑木林塾OB会

6月15日（土）3月の雑木林まつり以来、久々に訪れた公園は緑が茂り、雨上がりだったせいもあってひんやりとしてすがすがしい感じがしました。2月に行なった樹木調査の振り返りかねて、調査した木を1本1本確認しつつ、120本の木を見てまわり、その木の周りの植物も観察しました。調査時には葉がなく同定できなかった木も、葉や実によって何本か同定することができました。また、雑木林まつりの時に伐採したクヌギの木にひこばえが2本出ていたり、落ち葉だめの落ち葉が土に変わりつつある様子など、その後の変化を確認することもできました。最後はあらかじめ用意してあった質問事項にそって互いにインタビューし合い、感想をわちあいました。



ひこばえ



観察会の様子

入間・樹林の会 ～梅雨の現地調査～

6月16日（日）タイトルどおり今にも降りそうな天候のためか参加人員は少なめでした。植物専門家の根本さんにご指導をいただき午前中は方形枠の植物調査。前回壊れかけていた枠は横山さんが補修し、白く塗っておいて下さりとても判りやすくなっていました。枠の中の植物は変化が見られ、グーンと伸びていたものや、ハルジオンやヤエムグラなどは春の出番を終えて見付けられませでした。たくさんの種類があった枠8は更に10種類も増えていました。

午後からは環境の変化を知るためにいくつかの植物に目印を付ける作業。実生のコナラ、ケヤキやスゲ、ヤマユリ、サンショ、アマチャヅル等に番号札を付けました。ヤマユリには5cm位のつぼみがありました。曇空は森をますます暗く感じさせました。次回は伐採です。“どの木を”という目安を付けて作業を終了しました。



環境モニター活動

7月から1年間『私の気になる木』の調査を始めます。身近にある好きな木や、残したい木などを調査表に記入していきます。調査表には、木のある場所、生えている環境、木の特徴などを書きこみます。これらの樹木を記録していくことで、調布市にはどんな樹木が多くあり、好まれる木はどんな木なのか、どんな所に生えているのかなど、いろいろなことが分かってくると思います。調査表は、環境保全課にあります。興味のある方は、ぜひ一緒に調査しましょう。

モニターの今後の活動は、7月27日にガイドウォークを実施するほか、夏の植物調査の種類を決めながら、これまでの四季調査をまとめる予定です。またこれからの活動スケジュールと目標も、7月の連絡会で決めていきます。

ちょうふ DE 田んぼ日記その14「無事に田植えを終える！」

梅雨入りしたがまとまった雨は降らず、佐須用水の水不足は深刻。ドジョウの稚魚もどこへやら。しろかき（代掻き）と田植えは、前日まで延期せざるをえない状況でした。ところが天変地異か、関係者の願いかなってか、深夜に突然の雷雨。天からの恵みの水を田んぼに引き入れ、6月16日無事に田植えを終えることができました。15日、泥と格闘すること日没まで約5時間のしろかきとは打って変わり、受講生全員が横一列に並んでの田植えは笑みや歓声に包まれた晴れやかな雰囲気。アツという間に整然と植えられていく餅米とうるち米の苗に、受講生もホッと一息。お百姓さんの苦労を思いつつ、稲の成長を神に祈りたい気分でした。（受講生兼通信員 中原）



田植えの様子

特集 めだかの学校は♪…川の中？

「めだか」

童謡「メダカの学校」ができた50年前は、日本各地の川や田んぼや水路にはたくさんのメダカがいました。ところが、私たちにとって最も身近な魚だったメダカが、1999年2月、環境庁絶滅危惧種に指定されたということをご存知ですか？

えらいぞ・すごいぞ！
メダカたち

メダカは、
日本で1番小さな
淡水魚です。

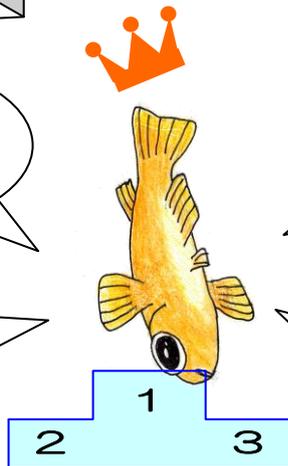
メダカは、
古くから、発生や
遺伝の研究に貢献
してきました。

メダカは、
川でも海水がまじ
る河口でも元気に
泳げます。

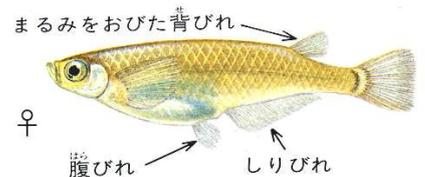
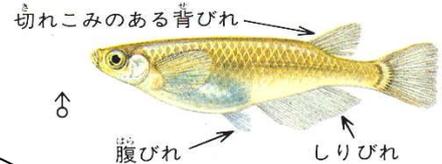
メダカは、
流れ落ちる水を頼
りに、斜面を登り
ます。

メダカは、
1番呼び名が多い魚です。
子供たちの人気者のメダ
カには、全国に5000以
上もの呼び名があります。

メダカは、
繁殖期間が1番長い魚です。
半年近く毎日卵を産み続け
ます。1日30粒として150
日間生み続け、1年で4500
粒にもなります。

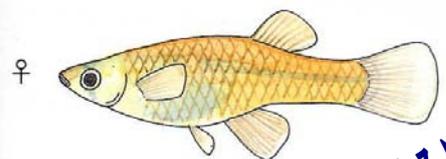
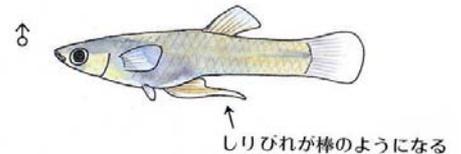


★ メダカのおス(♂)とメス(♀)



★ メダカの仲間…カダヤシ

蚊の幼虫(ボウフラ)を退治するた
めに移入されました。



めだかの学校は野川にある！
そつと覗いてみてごらん
みんなでお遊戯しているかもね？

メダカの英語名は ricefish [ライスフィッシュ]、田んぼと関係深い魚だからでしょうか？日本人の主食である米を作る水田は、かつては日本中のどこにでもありました。しかし、水田の減少、農薬の使用、用水路のコンクリート化、開発による池や沼の埋め立てにより、メダカをはじめ多くの生き物たちが姿を消しています。

グループ紹介 その2

入間・樹林の会

① 目的

入間町1丁目の市有地である国分寺崖線を市民、専門家、行政等の協働作業により保全し、この林を多くの生き物がすみ、人が行ってみたいくなる雑木林にしようと活動を進めています。

② 設立の経緯

この活動は環境市民懇談会の設立のひとつのイベント「入間町里山復活作戦」として始まりました。3回のワークショップを行った後、懇談会の設立シンポジウムで活動の提案を行い、現在は世話人会で活動計画を話し合いながら進めています。

③ これまでの主な活動

現地を知る為に樹木調査や1㎡の方形枠調査(8つ)を行いました。

④ これからの活動予定

毎月第3日曜日を活動日としています。今後はマテバシイの伐採(7月)、崖線樹林地の自然教室(8月)などを予定しています。

⑤ ひと言アピール

この会の魅力は、わたくしたち現代人が、日常生活のなかで、自然とのふれあいが極端に薄れていることに起因しているようです。初夏のむせかえるような雑木林の湿気、崖線の急峻なけものみち、ワッとやぶ蚊の群、可憐な草花たちが、あなたを歓迎し癒してくれます。

⑥ 問合せ先

調布市環境部環境保全課

参加しませんか？

● ガイドウォーク「西調布～京王多摩川」 環境モニターが身近な自然を案内します！

日時：7月27日（土）9:30～12:00
 集合場所：西調布駅改札口前
 持ち物：水筒、筆記用具、図鑑等（小雨決行）
 西調布駅から布田崖線を歩き京王多摩川駅まで、身近な自然を探しながら散策します。途中、調布第三小学校から府中用水脇を通り、凸凹山公園・若宮八幡宮・郷土博物館に立ち寄りませす。解散後、京王多摩川駅前の京王フローラルガーデンに寄ることもできます。
 （事前に環境保全課までお申込みください。）

● どんぐり林公園 自然観察会

日時：7月20日（土）10:00～12:00
 集合場所：どんぐり林公園（富士見町3丁目）
 持ち物：筆記用具、図鑑等（小雨決行）
 近隣の住民と雑木林塾の卒業生と一緒に夏の自然観察会を行います。セミやカブトムシといった夏の昆虫などが見つかるかもしれません。どなたでも参加できます。（富士見町地区協議会と共催）

● 入間・樹林の会 保全作業

日時：7月21日（日）
 9:30～15:00 予定
 集合場所：入間地域福祉センター
 持ち物：筆記用具、弁当、水筒、軍手、虫除け対策など
 樹林地内を明るくするためにマテバシイの大木を1本伐採します。また、落ち葉だめ作りも行います。

● 環境リーダーOB会

日時：7月14日（日）
 9:30～12:30
 集合場所：どんぐり林公園（富士見町）
 持ち物：筆記用具、観察用具など
 平成11,12年度に行った環境リーダー養成講座の終了生有志が呼びかけて、学習会を開催します。興味のある方は環境保全課までお問い合わせください。

● サポーター募集！

日時：6月29日（土）9:30～
 子どもたちの自然体験活動をサポートしてくれる人を募集します。
 ※要事前申込み、環境保全課まで

● 凸凹山公園 開放日

日時：7月28日（日）
 10:00～15:00
 当日、上記時間内は自由に散策できるように開放しています。

<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
7月1日(月) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境モニター 世話人会 ガイドウォークのコースや夏の自然調べについて検討します。
7月8日(月) 13:30～16:00	西調布駅 改札口	ガイドウォーク下見会 世話人会で話し合ったコースを歩き下調べを行います。
7月8日(月) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境モニター 連絡会 ガイドウォークの運営体制や夏の調査の検討をします。
7月9日(火) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	人間・樹林の会 世話人会 次回の作業計画や8月のイベントについて話し合います。
7月11日(木) 19:00～21:00	富士見町 地域福祉センター	どんぐり林観察会 準備会 20日の地区協議会と共催する観察会の準備を行います。
7月16日(火) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境市民懇談会 連絡会議 情報交換や懇談会のしつみを整理しこれからの取り組みを検討

ちょうふ環境市民懇談会では、定期的に情報の交換を行うためにメールリストも活用しています。お気軽にご参加ください。
 お問い合わせは尾辻（e-mail: kp5y-otj@asahi-net.or.jp）まで
 ◎ニュースレターが不要な方は環境保全課までご連絡ください。

その他の情報

■ 子どもたちに残そう高尾山の自然

高尾山にトンネルをほらせない！圏央道反対18周年。
 3000人集会和天狗の行進（協力券500円発売中）
 日時：7月28日（日）正午より（雨天決行）
 会場：裏高尾ジャンクション予定地内梅林
 会場行き専用バス＝高尾駅北口より運行10時～13時
 天狗の行進＝15時会場発
 主催：裏高尾圏央道反対同盟
 事務局 0426-62-8115（高尾山の自然を守る市民の会内）

◆ 野草園のホタル観賞会の来場者数は3日間で4,930人。1日目650人、2日目1,240人、3日目3,040人。環境フェアは3,820人の来場者があったという報告を受けました。身近な自然環境を気にしている調布市民の意識をうかがい知ることができます。

◆ 次回ニュースレター編集作業 ◆

日程	内容	どなたでも参加できます。初心者でもパソコンの使い方なども含めて指導します。一緒にニュースを盛り上げましょう！
7月15日	編集会議	
7月22日	編集作業	
7月29日	発送作業	

場所未定、時間は13時30分から2～3時間程度
 事前に環境保全課へお問い合わせください。

編集後記

総勢8人でおしゃべりしながらの楽しい作業になりました。自分の参加していないイベントの裏話や今後の予定にも耳を傾け、お手伝いというよりも情報交換の場としても多くの方が参加して楽しめる昼間の会になったようです。来月もまた、多くの参加があると良いですね。㊞

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問い合わせ先：調布市環境部環境保全課（荒井・倉林）
 TEL：0424-81-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp
発行：ちょうふ環境市民懇談会